

# 平成30年度弥富市防災ワークショップ



10月末～12月にかけて、地域の共助をテーマに「弥富市防災ワークショップ」が開催されました。自主防災会、民生児童委員、消防団、学校、保育所、地域包括支援センター、要配慮者利用施設職員など地域のさまざまな立場の方が、地域の防災について一緒に考えました。

## ＜10月31日 第1回全体会＞

十四山スポーツセンターで行われた第1回の全体会では地域包括支援センターの末藤センター長から、地域での同センターの役割についての講演や、下之割自主防災会、前ヶ平自主防災会の活動の紹介があり、地域の共助の体制について参加者は真剣に考えていました。



## ＜11月8日～12月11日 第2回地区ワークショップ＞

第2回の地区ワークショップは、毎週各地区で開催され、避難行動要支援者名簿の周知方法や、地域の不安、取り組みについて各班に分かれて、グループワーク形式で話し合いました。地域の共助についてさまざまな立場の参加者が意見を出し合い、防災に関する意識を共有していました。

## ＜12月18日 第3回全体報告会＞

十四山スポーツセンターで行われた第3回の報告会では各地区のワークショップで発表された意見が報告され、各地区の防災や共助に対する認識や不安、取り組みなどが紹介されました。市全体として地域の共助への意識を共有することができました。



当選証書を受け取る安藤 正明新市長

## 当選証書付与式

12月3日、十四山支所で、弥富市長選挙において選出された新市長の当選証書付与式が行われました。

伊藤 学選挙管理委員会委員長より当選証書を受け取った安藤 正明新市長は、「正しく、明るく、新しい弥富市を市民や職員と一緒につくってきたい。」と語りました。

伊藤委員長からは、「一層の市政発展のため、活躍を祈念する。」と激励がありました。



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



もちつき大会  
(十四山西部小学校)



防災訓練の様子

## 開発部防災訓練

11月5日、平島町および竹田地内にて、市と市建設業協会による防災訓練が行われました。この訓練は、集中豪雨などによる湛水被害に対する防災体制の確立や住民生活の被害を最小限にとどめることを目的に行われました。

平島町地内では、水中ポンプや操作盤、発電機を設置し、実際に排水訓練を行い、竹田地内では、発電機を用いた停電時における下水処理場の稼働訓練を行いました。

## 年輪のつどい

11月25日、総合社会教育センターで今年度60歳を迎える方を対象とした年輪のつどいが開催されました。午前中は市内バスツアーを、午後は交流会を行いました。計59名の参加者は、普段自分たちが住んでいる弥富市の魅力を再発見したり、今後のライフプランのお話をしたりして楽しみました。

このつどいでの出会いや交流が、今後のつながりを深めていくきっかけとなる貴重な場となりました。



和気あいあいと交流を深める参加者ら

## やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

### 明治の東海道(その5)

広報10月号でご紹介した弥勒寺から、さらに東に進みます。「中学校前」の交差点から三ツ又池公園に向かうと、道の左側に「孝女そよ宅址」の碑があります。

そよは、享保13(1728)年に鳥ヶ地で生まれました。幼いころに母親と別れ父親に苦労して育てられたため、父親のありがたさを思い孝行をつくしたといひます。

そよの話は、鳥ヶ地に住む西河菊荘によって安永7(1778)年に「孝女曾與伝」として出版されて広まりました。

そよは寛政12(1800)年に亡くなりましたが、その後も功績がたたえられ、明治・大正時代の修身の教科書にも取り上げられ全国に広まりました。弥勒寺の門前には、今でもそよの墓が残っています。

明治の東海道は、「孝女そよ宅址」の碑からさらに東に続きます。



▲「孝女そよ宅址」の碑

広報やとみでは市民の皆さんが撮影したお写真を募集しています！詳しくは、市ホームページ「投稿こんな〇〇あったがね～」をご覧ください。